

平成25年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校6年）

■分析と今後の指導上の工夫

・学校や家での学習

「学校の授業がどの程度分かりますか」についての肯定割合が、9割を超えるが、「分からないことが多い」と答えた児童が約1割いる。平日、授業以外において30分くらいの学習時間の児童もいれば、2時間以上学習している児童も4割近くおり、個人差が大きい。家庭学習の大切さを本人や家庭に啓発するとともに、「分からない」と答えた児童を中心に個別に支援していく。

「授業で学習したことで分からないところは、誰に聞くか」という問いに対して「友達に聞く」と答えた児童が約5割である。普段の授業においても、課題が早く終わった児童が、解き方を説明してあげている姿が見られ、学び合いができていていると思われる。

・毎日の生活

「学校生活に満足していますか」の問いに対しての肯定割合は、100%であり、学校生活が充実しているものと思われる。その一方で、「今の生活や将来に悩みや不安がある」と答えた児童が7割を超える。「自分の夢などについて家の人と話すことがある」について肯定的に答えている児童が8割を超え、「先生は自分のことを認めてくれていると思う」について肯定的に答えている児童が9割を超えているため、児童と大人が会話をすることで不安を取り除いていくことが必要である。

・携帯電話

携帯電話を持っている児童が3割を超えるが、「フィルタリングをしている」（約85%）や「家の人とルールを決めている」（100%）など、安全に気をつけながら使用している。しかし、使用時間が1時間から2時間という児童も1割以上いる。長時間、電話やメールをしたり、インターネットのサイトを見たりすることによる問題点や危険性についてきちんと理解させるとともに、家庭と連携しながら支援していく。

・体力や健康、食事、安全

「運動は好きである」についての肯定割合が、宇都宮市や昨年度の本校6年生と比較して低い。また、「休み時間や放課後、休日などに、自分から進んで運動するようにしている」についての肯定割合が4割弱と低くなっている。運動することの大切さを理解させるとともに、休み時間などに学級遊びなどで楽しく体を動かす機会を作っていく必要がある。

食事については、比較的良好といえるが、好き嫌いがある児童もいるため、少しずつ食べるよう努力させるとともに、家庭との連携を図っていきたい。

安全については、「不審者から自分の安全を守るための行動を心がけている」についての肯定割合は8割を超えるが、宇都宮市や昨年の6年生に比べ、低い。家庭や学校において安全な環境で生活できていると捉えれば、良いことであるが、今後、中学生になり、一人で行動することが多くなると考えられるため、安全に対する意識を高めるとともに、不審者による被害に合わないため、不審者から身を守る方法などについて確認していく。